

古潭と嶺泊の丘に9万kWの風力発電計画が！

・事業者：株式会社東急不動産

・事業内容：単機出力4,300～6,100kW、最大15基、最大出力91,500kW

高さ180m（札幌テレビ塔は147m）の風車が15基も建設されます。風車からの低周波音による健康影響が強く懸念され、このまま暮らせなくなるかもしれません（裏面に健康リスクマップ掲載）。風景がだめになります。野鳥やコウモリや昆虫が風車の羽に当たって死にます。自然がだめになります。夜間、航空障害灯が点滅し、星空がだいなしになります。

事業者による住民説明会が開催されます！

・日時：11月11日（金）18:30～20:00

・場所：望来コミセン

参加して事業者が何をしようとしているのか、しっかり話を聞きましょう。

わからないことはどんどん質問しましょう。

風車学習会を開催します！

・日時：11月6日（日）13:30～15:30

・場所：古潭会館

・講師：石狩湾岸の風力発電を考える石狩市民の会代表 安田秀子

・参加費：300円（資料代ほか）

今回の計画は、石狩湾新港洋上風力発電（出力10万kW）と同程度の大規模なものです。特に、風車からの騒音・低周波音による健康影響について学びを深めましょう。

風車からは低周波音が発生し、頭痛・めまい・吐き気などを引き起こします

私は厚田区嶺泊に住む70代の女性です。

生まれてこの方頭痛等を経験した事のない私はある日風力発電機の前に立つと、頭を締め付けられるような痛みを感じ、5分位でその場を離れましたが、離れても尚20分位痛みは続いていました。後から、これが低周波によるものだったと知りました。これが家の側にあって24時間、360日動いているとそう考えると私の頭や身体はどうなってしまうだろうと、心配です。もし、この痛みに耐えられない場合、私はこの家からでて、風力発電の影響のない所へ行かなければなりませんがこの年寄りの行く当ては、ありません。

人事ではないと思います。風力発電機が側にある以上、誰も低周波の影響から逃れる事は出来ません。辛いです。（石狩市厚田区嶺泊67-3 在住住民）

(仮称)北海道厚田風力発電事業の風車が動き出したら……

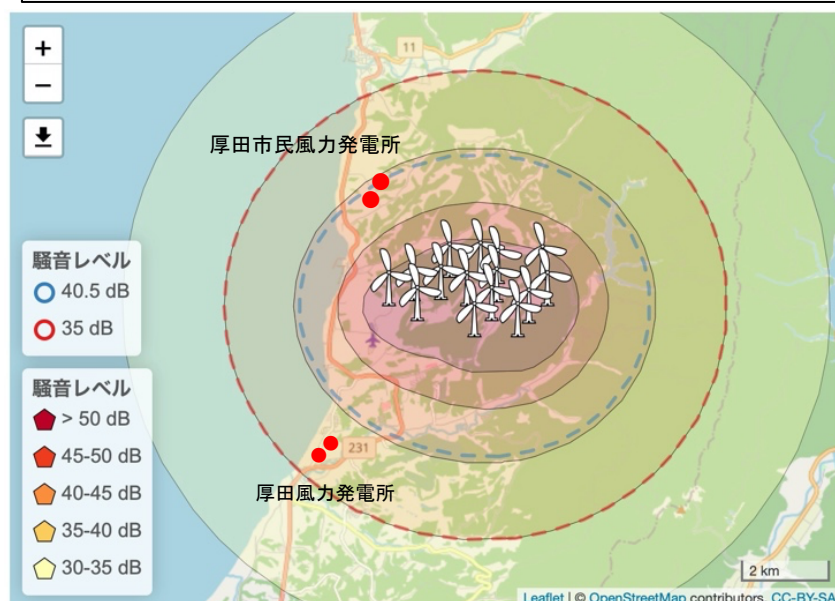


図1 15基による風車騒音の広がり示した地図

<騒音による影響>

- ・左図の青点線 40.5dB は、環境省による全国疫学調査で不眠症のリスクが上昇した域値を示しています。
- ・この域値より高い騒音のエリアには約 120 人が居住。不眠症になるリスクが高いといえます。
- ・赤点線 35dB は、静かな地域では風車騒音はこの値を超えないように求められています(環境省指針値)。
- ・風車から4km 余りの範囲は、35dB を超えており、ここに約 330 人が居住しています。中には、生活上、何らかの不都合を感じる人がいるかもしれません。
- ・厚田風力発電所、厚田市民風力発電所等の既設風車から発生する騒音の影響は考慮していません。実際はこれらの影響も受けることになります。

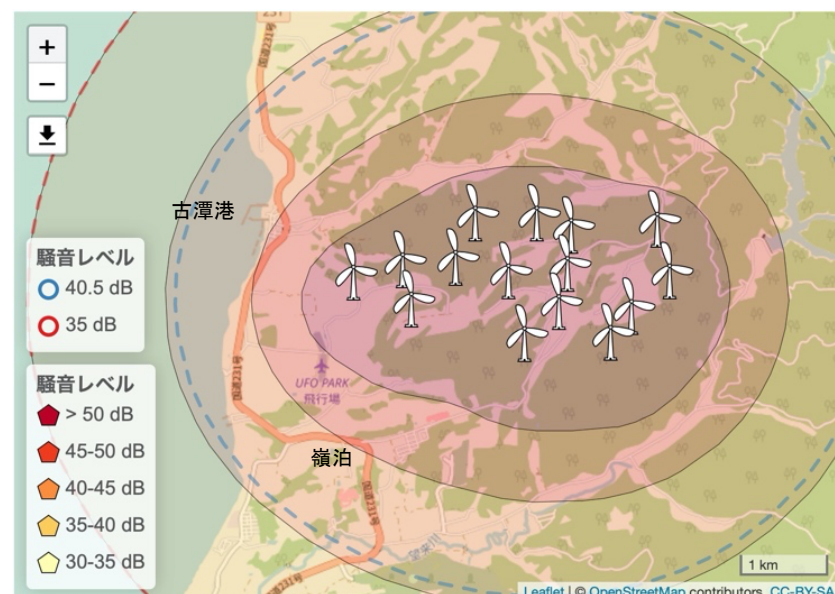


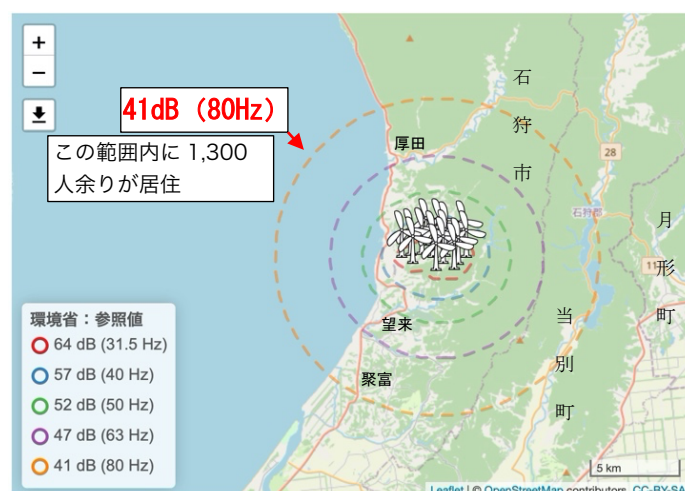
図2 図1を拡大したもの

<低周波音による影響>

1割の人が安眠できなくなる低周波音(80Hz、41dB)は 10km の範囲まで届きます！！

※「低周波音による心身に係る苦情に関する参照値」は、1割の住民が「入眠時に音がきになる」と回答する音圧レベルに相当。

図3 低周波音による心身に係る苦情に関する参照値の広がり示した地図



北海道大学大学院工学研究院環境工学部門地域環境研究室が開発した、風力発電による健康リスク簡易予測システムにより作成、提供いただいた。予測は入手可能な情報からの 6,000kW 級風車推計値を使用。実際に使用される機種の手データではないのであくまでも目安。既設風車の累積影響は考慮していない。実際は建物による遮音効果もある。